



平成 26 年 3 月 31 日

各 位

ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社
代表取締役社長 小松 裕 介
(コード番号 6819)

問い合わせ先
経営企画室 岩井 俊 輔
電話番号 03-5786-3900

会社説明資料について

今般、当社は、平成 26 年 3 月 31 日時点において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、会社説明資料を作成いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、明日から始まる平成 27 年 3 月期も、伊豆シャボテン公園グループの「伊豆半島最大のテーマパークづくり」や「年間入園者数 200 万人」を目標に、役員・社員一同が総力をあげ、全社一丸となり、経営に取り組む所存でございますので、株主様をはじめ皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社説明資料

ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社
平成26年3月31日

【留意事項】

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

目次

1. 経営理念	P.3
2. 会社概要と沿革	P.4
3. 経営成績の推移(過去5年間)	P.5
4. 財政状態の推移(過去5年間)	P.6
5. 事業ポートフォリオの概要(レジャー事業、映像・音盤関連事業、投資事業)①	P.7
6. 事業ポートフォリオの概要(レジャー事業、映像・音盤関連事業、投資事業)②	P.8
7. 主力事業である伊豆シャボテン公園グループの概要	P.9
① 伊豆シャボテン公園の概要・イベント	P.10・11
② 伊豆ぐらんぱる公園の概要	P.12
③ 伊豆四季の花公園の概要	P.13
④ 伊豆海洋公園ダイビングセンターの概要	P.14
⑤ 伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぼーとの概要	P.15
8. 伊豆シャボテン公園グループ パブリシティ一覧	P.16
9. 来客者数推移①(伊豆半島及び静岡県伊東市)	P.17
10. 来客者数推移②(自社及び競合他社)	P.18
11. 伊豆シャボテン公園グループのビジョン	P.19
12. 重点施策(まとめ)	P.20
① 重点施策①	P.21
② 重点施策②	P.22
13. 各運営施設の基本方針(まとめ)	P.23
① 伊豆シャボテン公園の基本方針	P.24
② 伊豆ぐらんぱる公園の基本方針	P.25
③ 伊豆四季の花公園の基本方針	P.26
④ 伊豆海洋公園ダイビングセンターの基本方針	P.27
⑤ 伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぼーとの基本方針	P.28

経営理念

経営理念

「私たちは、個人の能力を最大限に活かし協力しあって、
自然と人の共生を通じて、心の豊かな社会づくりに貢献します。」

私たちは、
スタッフ全員が、それぞれが持つ能力を最大限に発揮して、
文化、習慣、言語、民族などの違いを問わずに、
お客様、社員、取引先、株主、地域社会など全ての人々が、
動物、植物、地球など自然環境に対しても良い関係を創り、
継続して、共に生き、共に働いて、
社会的な責任を全うすることを通じて、
本来人間が持っている“人間らしさ”や“人としての喜びや優しさ”など
情緒あふれ、感性豊かな社会を創ります。



ブランドスローガン

「自然にやさしい、人にやさしい」



自然にやさしい、人にやさしい

私たちは、
動物、植物、地球など自然環境と、
お客様、社員、取引先、株主、地域社会など全ての人々に対して、
優しさと配慮ある会社であることを目指します。

使命・役割

「全てのお客様に幸せを提供すること」



会社概要と沿革

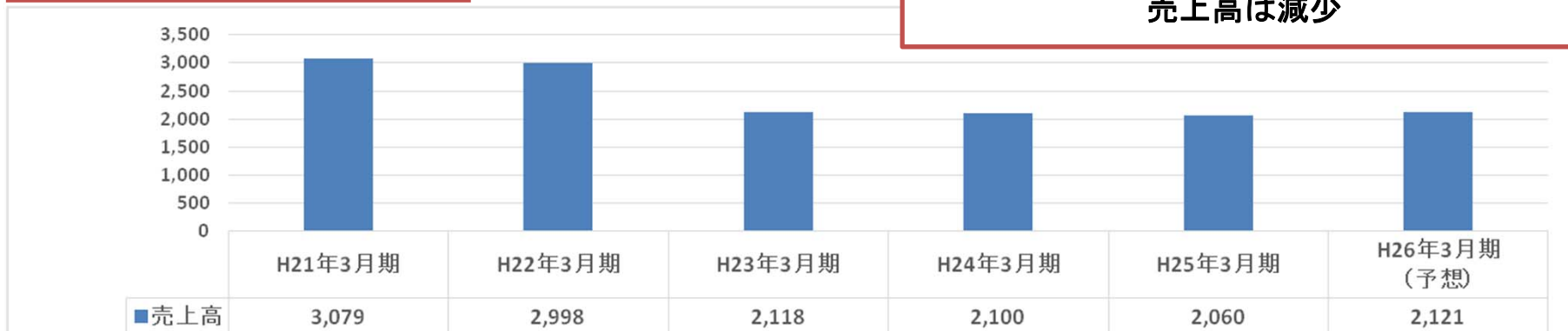
会社概要		沿革	
会社名	ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社 (Social Ecology Project Co., Ltd.)	昭和51年	ボディソニック株式会社 (BODYSONIC Co., Ltd.) を設立
設立	昭和51年1月24日	平成2年	株式店頭公開
代表者	代表取締役社長 小松 裕介	平成12年	会社商号をオメガ・プロジェクト株式会社 (Omega Project Co., Ltd.) に変更 ドイツ・フランクフルト証券取引所に当社株式を上場
本店所在地	東京都港区南青山1丁目11-45	平成16年	株式会社サボテンパークアンドリゾート (テーマパーク等の運営) の運営に参加
上場市場	東京証券取引所 ジャスダック上場 (証券コード: 6819)	平成17年	会社商号をオメガプロジェクト・ホールディングス株式会社 (Omega Project Holdings Co., Ltd.) に変更
資本金	401百万円	平成19年	株式会社FLACOCO (テレビCMの企画・制作) 設立 伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとをオープン
事業内容	ソーシャル・エコロジー・プロジェクトグループ 全体の戦略立案、子会社の管理等 (レジャー事業、映像・音盤関連事業、投資事業)	平成21年	伊豆シャボテン公園開園50周年
従業員数	連結: 91名、単体: 9名 (平成26年3月末時点)	平成22年	会社商号をソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社 (Social Ecology Project Co., Ltd.) に変更
連結子会社 (100%子会社)	株式会社サボテンパークアンドリゾート 株式会社伊豆四季の花・海洋公園 株式会社FLACOCO	平成24年	伊豆シャボテン公園「元祖カピバラの露天風呂30周年」 株式会社サボテンパークアンドリゾートの会社分割により 株式会社伊豆四季の花・海洋公園を設立
発行済株式総数	26,496,537株		

経営成績の推移(過去5年間)

(単位:百万円)

連結売上高の推移

事業ポートフォリオの組み替えを図った結果
売上高は減少



連結営業利益の推移



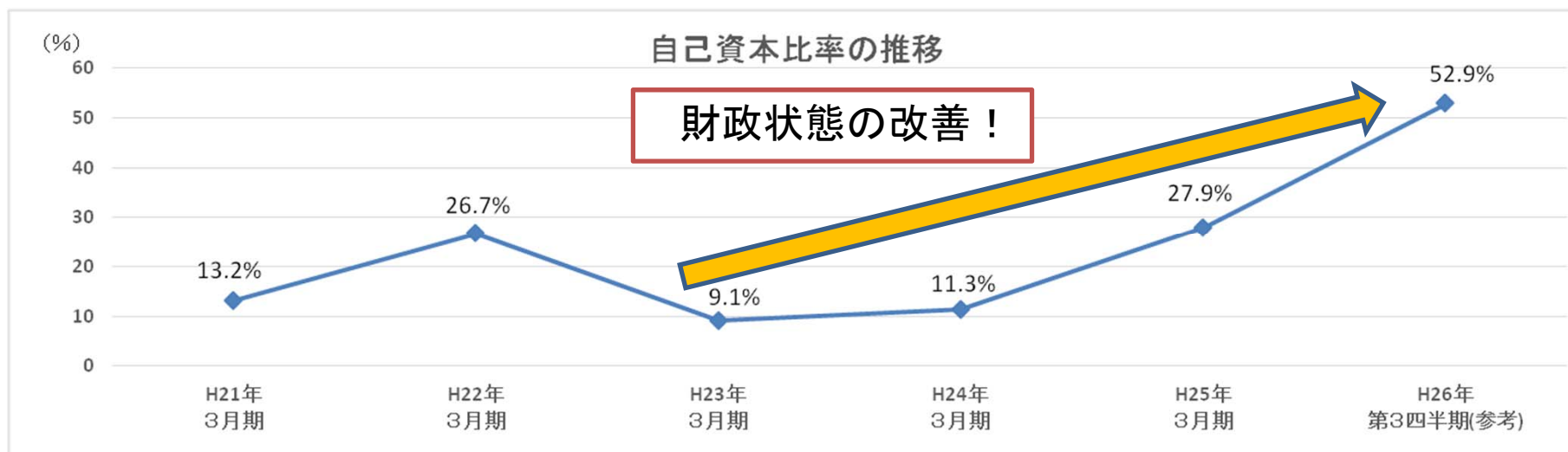
- ① 「選択と集中」によりレジヤ事業を主力とした事業ポートフォリオへの組み替えを図った結果、平成21年3月期決算と比較して売上高は減少
- ② さらなる経営効率化を図りレジヤ事業の経営改革を実施した結果、平成25年3月期決算は7年ぶりの営業利益の黒字化、また12年ぶりの2期連続当期純利益の黒字化を達成

財政状態の推移(過去5年間)

(単位:百万円)

		平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 第3四半期 (参考)
総資産		2,711	1,373	1,051	1,140	1,070	1,130
資産	流動資産	657	428	202	296	246	281
	固定資産	2,053	944	848	843	823	848
負債・資本	流動負債	1,278	697	692	795	564	356
	固定負債	717	278	228	216	206	176
	純資産	715	397	131	129	298	597
自己資本比率(%)		13.2	26.7	9.1	11.3	27.9	52.9

※ 平成26年3月期において、第三者割当による新株式(払込み総額265百万円、資本組入額の総額132百万円)を発行しております。



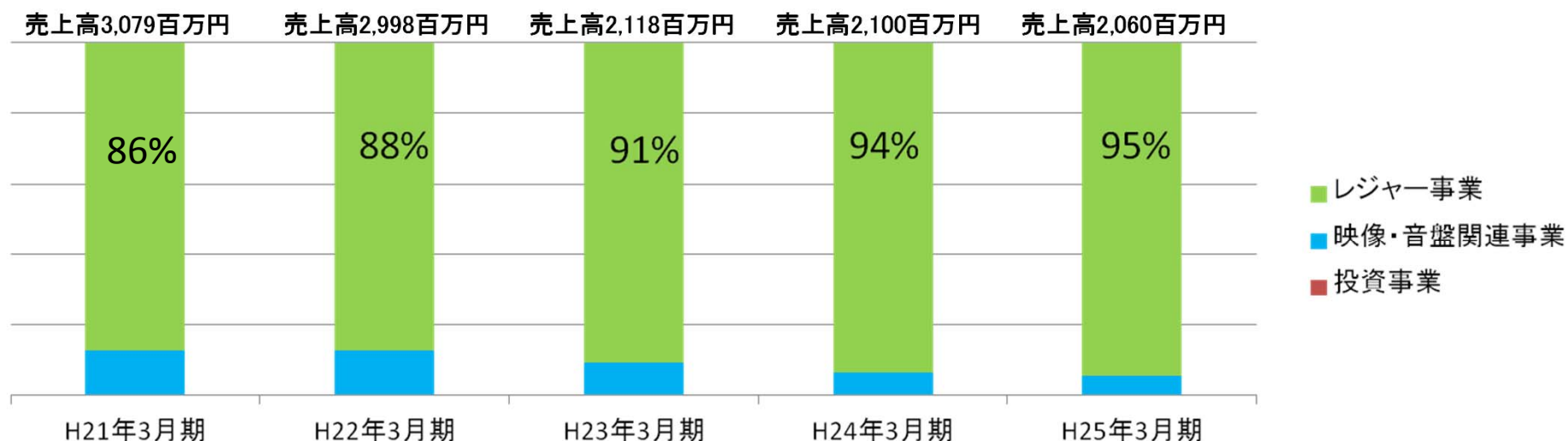
純資産が増加し自己資本比率が50%を超えたことで財政状態が改善

事業ポートフォリオの概要(レジャー事業、映像・音盤関連事業、投資事業)①

当社グループは、主力事業である伊豆シャボテン公園グループの施設運営を行うレジャー事業、映像・音盤関連事業(平成27年3月期よりエンターテイメント事業へ名称変更)及び投資事業を展開しております。

当社グループは、当社と連結子会社である株式会社サボテンパークアンドリゾート、株式会社伊豆四季の花・海洋公園及び株式会社FLACOCOの計4社にてグループを形成しております。

売上構成比(過去5年間)



「選択と集中」による事業ポートフォリオの組み替え

- ①主力事業であるレジャー事業が売上構成比の90%強を占める
- ②平成21年3月期決算と比較して売上高は減少
- ③平成25年3月期決算は7年ぶりの営業利益の黒字化、また12年ぶりの2期連続当期純利益の黒字化を達成

事業ポートフォリオの概要(レジャー事業、映像・音盤関連事業、投資事業)②

① レジャー事業

当社子会社である株式会社サボテンパーク
アンドリゾート及び株式会社伊豆四季の花・海
洋公園において、伊豆シャボテン公園、伊豆ぐ
らんぱる公園、伊豆四季の花公園、伊豆海洋
公園ダイビングセンター及び伊豆高原旅の駅
ぐらんぱるぽーとの施設運営を行っております。



② 映像・音盤関連事業

当社子会社である株式会社FLACOCOにおいて、
テレビCMの制作を行っております。

当社において、保有するコンテンツの運用や
キャラクタービジネスとして伊豆シャボテン公園
のオリジナル新キャラクター「シャボ10(テン)
ファミリー」の企画開発を行っております。

株式会社FLACOCO



【CM制作】
三和酒類株式会社
「いいちこ」



【ドキュメンタリー映画】
「空を拓く
～建築家・郭茂林という男～」

シャボ10(テン)ファミリー第1弾キャラクター
「シャボくん」



※「シャボ10ファミリー」「シャボくん」は
当グループの登録商標です。

③ 投資事業

当社において、当社グループの最適な事業ポートフォリオの構築のため、将来の主力事業への育成を目的として
既存事業とのシナジー効果が得られる企業へのPE投資を行っております。またM&A及びファイナンシャル・アドバイ
ザリー業務、経営コンサルティングを行っております。

主力事業である伊豆シャボテン公園グループの概要

伊豆シャボテン公園グループは、静岡県伊東市の伊豆高原エリアにおいて、“ほんわかカピバラ！あったかサボテン！伊豆高原のふれあい動物園”『伊豆シャボテン公園』、“大人も子どももわんちゃんも！いっぱい遊べる伊豆高原”『伊豆ぐらんぱる公園』、“花が咲き、海がきらめく。城ヶ崎の彩り空間”『伊豆四季の花公園』、“大都会に極めて近いダイビングスポット”『伊豆海洋公園ダイビングセンター』や“お食事・おみやげ・癒しの情報発信ステーション”『伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーと』を運営しており、合計年間130万人以上のお客様にご利用いただいております。

伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとを除く4つの運営施設は開園から約50年の歴史を誇り、地元地域住民やお客様に長年親しまれてまいりました。

伊豆シャボテン公園グループ

伊豆シャボテン公園

伊豆ぐらんぱる公園

伊豆四季の花公園

伊豆海洋公園
ダイビングセンター

伊豆高原旅の駅
ぐらんぱるぽーと



伊豆シャボテン公園の概要

伊豆シャボテン公園 概要

開園日	昭和34年10月22日
所在地	〒413-0231 静岡県伊東市富戸1317-13
電話番号	TEL 0557-51-1111(代) FAX 0557-51-2684
入園者数	平成23年3月期 約28万人 平成24年3月期 約29万人 平成25年3月期 約30万人
交通	【電車のご利用】 新幹線または踊り子号利用、伊豆高原駅下車 (バス 約20分、タクシー 約10分) 【車のご利用】 東名高速道路 厚木I.Cより小田原厚木道路を經由、 国道135号線へ(約105km、約135分)
開園時間	9:00~17:00(3/1~10/31) 9:00~16:00(11/1~2/末)
休園日	年中無休 (天候・気象条件などにより休園する場合あり)
料金	大人(中学生以上) 2,300円 小学生 1,100円 幼児(4歳以上) 400円 ※ シニア割引、特別福祉料金あり ※ 上記は平成26年4月1日以降の改定料金

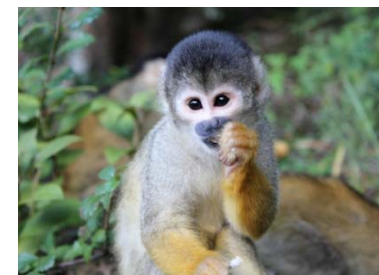
サボテン

約1,500種類の世界中のサボテンや多肉植物が生育、展示されており、ワシントン条約の対象となる貴重なサボテンや多肉植物も多数含まれております。



動物

約100種類の動物が飼育されており、リスザル、インドクジャク、ワラビーやクロカンガルーなどが放し飼いになっております。



伊豆シャボテン公園のイベント

元祖カピバラの露天風呂

“伊豆の冬の風物詩”として多くの皆様に親しまれている「元祖カピバラの露天風呂」は今年で32年目を迎えます。また「カピバラのゆず湯」、「カピバラの温泉」や長崎バイオパークと地域を超えて「カピバラの露天風呂」を盛り上げる「カピバラの露天風呂協定」調印など「元祖カピバラの露天風呂」関連のイベントも多数開催しております。

※「カピバラの露天風呂」「カピバラの温泉」は当グループの登録商標です。



伊東・春日井サボテンコラボ！

愛知県春日井市で発足した「春日井サボテンプロジェクト」と当園がコラボレーションし、春日井サボテンプロジェクトが開発したサボテン商品やレストランメニューを当園で販売するほか、共同での企画展示、サボテン関連の商品開発及びサボテンに関するPRを行っております。



サボテンとメキシカンポークの串焼き「サボマ」



サボテンサラダ

伊豆ぐらんぱる公園の概要

伊豆ぐらんぱる公園 概要

開園日	昭和40年5月16日
所在地	〒413-0231 静岡県伊東市富戸1090
電話番号	TEL 0557-51-1122(代) FAX 0557-51-2564
入園者数	平成23年3月期 約20万人 平成24年3月期 約25万人 平成25年3月期 約24万人
交通	【電車のご利用】 新幹線または踊り子号利用、伊豆高原駅下車 (バス 約20分、タクシー 約10分) 【車のご利用】 東名高速道路 厚木I.Cより小田原厚木道路を經由、 国道135号線へ(約102km、約130分)
開園時間	9:00～17:00(3/1～10/31) 9:00～16:00(11/1～2/末)
休園日	年中無休 (天候・気象条件などにより休園する場合あり)
料金	大人(中学生以上) 1,200円 小学生 600円 幼児(4歳以上) 400円 ※ シニア割引、特別福祉料金あり ※ 上記は平成26年4月1日以降の改定料金

ウォーターバルーン・ウォーターロール

水上遊具「ビッグウォーターバルーン」と「メガウォーターロール」(国内最大級)を導入いたしました。導入以来多くのメディアに取り上げられております。



わんぱくライダーPark

平成24年7月に、ランニングバイクやBMX 自転車を使用するお子様向けの自転車コースを導入いたしました。



伊豆四季の花公園の概要

伊豆四季の花公園 概要

開園日	昭和38年7月13日
所在地	〒413-0231 静岡県伊東市富戸841-1
電話番号	TEL 0557-51-1128(代) FAX 0557-33-1071
入園者数	平成23年3月期 約6万人 平成24年3月期 約5万人 平成25年3月期 約6万人
交通	【電車のご利用】 新幹線または踊り子号利用、伊豆高原駅下車 (バス 約15分、タクシー 約7分) 【車のご利用】 東名高速道路 厚木I.Cより小田原厚木道路を經由、 国道135号線へ(約109km、約140分)
開園時間	9:00~17:00(3/1~10/31) 9:00~16:00(11/1~2/末)
休園日	年中無休 (天候・気象条件などにより休園する場合あり)
料金	小学生以上一律 500円 ※ 特別福祉料金あり

城ヶ崎あじさいまつり

230種以上の日本原種のあじさいが揃うあじさい苑。原種ならではの可憐な姿をご覧ください。
5月下旬から7月上旬まで、「城ヶ崎あじさいまつり」を開催しております。



城ヶ崎 桜と菜の花まつり

約100本の桜と2品種約20,000本の菜の花が、早春の城ヶ崎海岸を彩ります。
1月上旬から2月上旬まで、「城ヶ崎 桜と菜の花まつり」を開催しております。



伊豆海洋公園ダイビングセンターの概要

伊豆海洋公園ダイビングセンター 概要

開園日	昭和39年4月1日								
所在地	〒413-0231 静岡県伊東市富戸841-1								
電話番号	TEL 0557-51-1129(代) FAX 0557-51-3412								
入園者数	平成23年3月期 約3万人 平成24年3月期 約2万人 平成25年3月期 約2万人								
交通	<p>【電車のご利用】 新幹線または踊り子号利用、伊豆高原駅下車 (バス 約15分、タクシー 約7分)</p> <p>【車のご利用】 東名高速道路 厚木I.Cより小田原厚木道路を經由、 国道135号線へ(約109km、約140分)</p>								
開園時間	8:30~15:00(9/15~5/15) 8:30~16:30(5/16~9/14)								
休園日	年中無休 (天候・気象条件などにより休園する場合あり)								
料金	<table border="0"> <tr> <td>施設利用料</td> <td>2,484円</td> </tr> <tr> <td>磯プール 大人(中学生以上)</td> <td>1,400円</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>800円</td> </tr> <tr> <td>幼児(4歳以上)</td> <td>400円</td> </tr> </table> <p>※ 上記磯プール料金にはシニア割引、特別福祉料金あり ※ 上記磯プール料金は平成26年4月1日以降の改定料金</p>	施設利用料	2,484円	磯プール 大人(中学生以上)	1,400円	小学生	800円	幼児(4歳以上)	400円
施設利用料	2,484円								
磯プール 大人(中学生以上)	1,400円								
小学生	800円								
幼児(4歳以上)	400円								

水中ポストからメリークリスマス

クリスマスの時期には、水深4メートルの海底に巨大クリスマスツリーとポストを設置。ダイバーたちが水中ポストに『クリスマスカード』を投函して、家族や友人に送るイベント「水中ポストからメリークリスマス」を開催しております。



幸運が訪れる「黄金のヒラメ」

冬季にはダイバーの間で“幸運が訪れる”と呼ばれる「黄金のヒラメ」を見ることができます。



伊豆高原旅の駅ぐらんぱーとの概要

伊豆高原旅の駅ぐらんぱーと 概要

オープン	平成19年11月3日
所在地	〒413-0231 静岡県伊東市富戸1090
電話番号	TEL 0557-51-1158(代) FAX 0557-51-7685
来客者数	平成23年3月期 約67万人 平成24年3月期 約66万人 平成25年3月期 約69万人
交通	【電車のご利用】 新幹線または踊り子号利用、伊豆高原駅下車 (バス 約20分、タクシー 約10分) 【車のご利用】 東名高速道路 厚木I.Cより小田原厚木道路を經由、 国道135号線へ(約102km、約130分)
開園時間	9:00~18:00(季節、店舗により異なる)
休業日	年中無休 (天候・気象条件などにより休業する場合あり)

海鮮丼

イカ、マグロや生しらすなど、新鮮な海の幸がたっぷり入った海鮮丼がお客様からご好評をいただいております。



地元小学校との新メニュー 共同開発プロジェクト

静岡県伊東市立富戸小学校の生徒たちと新メニュー共同開発プロジェクトを企画考案し、地元である富戸の食材を使用した新メニューを発表いたしました。



富戸定食



さばから

伊豆シャボテン公園グループ パブリシティ一覧

掲載日	掲載メディア
平成26年3月24日	【TV】 フジテレビ「TERRACE HOUSE」
平成26年3月20日	【TV】 日本テレビ「ぐるぐるナインティナイン」
平成26年2月6日	【雑誌】 文藝春秋「週刊文春」
平成26年1月25日	【TV】 フジテレビ「超潜入！リアルスコープハイパー」
平成26年1月10日	【TV】 テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
平成26年12月22日	【TV】 TBSテレビ「サンデーモーニング」
平成25年12月6日	【TV】 テレビ朝日「グッド！モーニング」
平成25年11月26日	【TV】 日本テレビ「PON！」
平成25年11月23日	【WEB】 YAHOO！トップページ
平成25年6月26日	【その他】 きゃりーぱみゅぱみゅ 2ndフルアルバム 「なんだこれくしょん」 同封フォトブックを伊豆シャボテン公園で撮影

上記のほか、テレビ、新聞、ラジオ、雑誌及びWEBサイト等多数のメディアに取り上げられております。

平成26年1月25日(土)
フジテレビ「超潜入！リアルスコープ
ハイパー」

カピバラやバクの赤ちゃんが紹介されました。
また伊豆シャボテン公園のゆるキャラ「カピー
バ」がスタジオ出演いたしました。



平成26年1月10日(金)
テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」

「THE行列」のコーナーで、伊豆シャボテン公園
「元祖カピバラの露天風呂」が紹介されました。



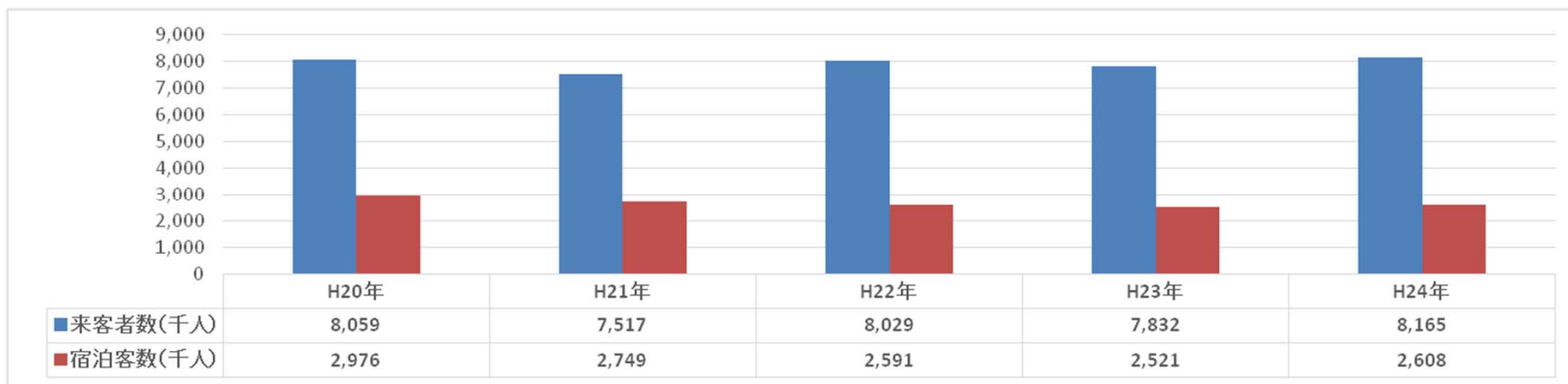
来客者数推移①(伊豆半島及び静岡県伊東市)

伊豆半島の来客者数推移(過去5年)

出典:静岡県公式ホームページ「静岡県観光交流の動向 統計調査」

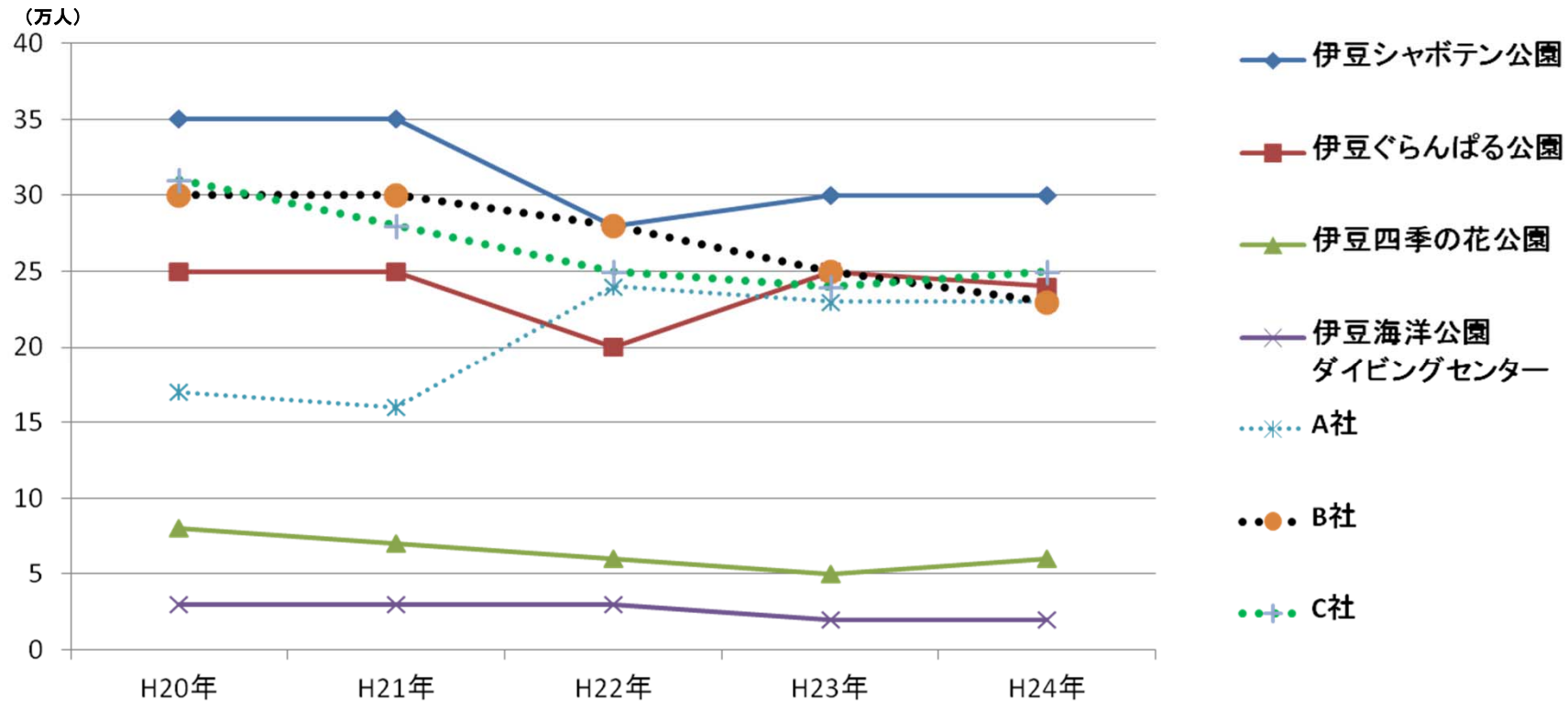


静岡県伊東市の来客者数推移(過去5年)



- ①近年において伊豆半島、静岡県伊東市への来客者数は安定している。
- ②東日本大震災の影響があった平成22年度及び平成23年度の来客者数はやや減少したが、平成24年度の来客者数は増加しており、回復傾向にある。

来客者数推移②(自社及び競合他社)



競合他社の来客者数推移は横ばい、もしくは下方傾向にあるが、伊豆シャボテン公園グループは、経営改革により穏やかではあるが上昇傾向にある。

来客者数推移①、②を見ると各施設来客者数の推移は安定しているが、伊豆半島及び静岡県伊東市における当グループ全体の来客者数シェアは、対伊豆半島約5%、対静岡県伊東市約16%と少ない



さらにシェアを獲得し伊豆地域の観光施設における圧倒的なマーケット・リーダーへ

伊豆シャボテン公園グループのビジョン

ビジョン

新たな100周年に向けてチームワーク、団結力で

①伊豆半島最大のテーマパークづくり ②「年間入園者数200万人」を達成します。

マイルストーン

安定した来客者数の伊豆半島、静岡県伊東市の観光マーケットにおいて伊豆地域の観光施設における圧倒的なマーケット・リーダーの地位の確立

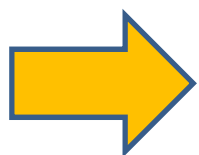
- ① 「伊豆旅行といったら伊豆シャボテン公園グループ」
というブランド力の構築
- ② 顧客満足度の向上による客単価の向上
- ③ 滞在時間の長期化



伊豆半島を牽引するレジャー施設となり、他地域との競争へ

重点施策(まとめ)

施策	概要
① 夜間営業の開始	<ul style="list-style-type: none">① 平成27年3月期を「夜間営業元年」とする② 平成27年3月期では、伊豆シャボテン公園、伊豆ぐらんぱる公園及び伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとが、本格的な夜間営業を開始③ 営業時間を延長し、資産稼働率の向上を図る④ お客様の利便性向上の実現により、更なる顧客満足度の向上を図る
② システム投資	<ul style="list-style-type: none">① 伊豆ぐらんぱる公園にフロントシステムを導入② 精緻なマーケティングデータの取得③ フロントスタッフをパート化することによる人件費の削減④ 待ち時間の短縮によるお客様の利便性向上
③ 全般的な魅力向上	<ul style="list-style-type: none">① 魅力的な運営施設への改善② イベントの拡充③ 物販の拡充④ 接客などサービスレベルの向上⑤ 効果的な宣伝広告の実施



①「伊豆半島最大のテーマパークづくり」
②「年間入園者数200万人」の達成へ

重点施策①

① 夜間営業の開始

平成27年3月期を「夜間営業元年」と位置付け、伊豆シャボテン公園、伊豆ぐらんぱる公園及び伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとでは、平成26年4月26日(土)から5月6日(火・祝日)までのゴールデンウィーク期間及び7月19日(土)から9月30日(火)までの夏季期間の全日にわたり、営業時間を延長し、夜間営業を開始いたします。

伊豆シャボテン公園の持つ夜の動植物園の魅力、伊豆ぐらんぱる公園の夜間ならではのアトラクション、ステージイベントや露店などの開催、また伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとのレストランやショップの営業時間延長による利便性向上を実現して、更なる顧客満足度の向上を図ってまいります。



② システム投資

伊豆ぐらんぱる公園において、パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社のチケット販売管理システムを導入いたします。

本システムを導入することにより、これまで窓口担当者の知識や経験に依拠していたチケット発券からデータ集計までの一連の業務において効率化が図られ、お客様の待ち時間の短縮が実現するなど、お客様の利便性を向上させることができます。

また精緻なマーケティングデータの取得が可能となるので、今までよりもよりタイムリーに営業キャンペーンなどマーケティング戦略の策定を行うことができるほか、フロントスタッフをパート化することにより大幅な人件費削減も可能となります。

なお、本システムは平成25年12月に伊豆シャボテン公園でも導入実績があります。



重点施策②

③ 運営施設の全般的な魅力向上

1. 魅力的な運営施設への改善

- 伊豆シャボテン公園を代表する動物である「カピバラ」の新施設などの新規設備投資、また老朽化した設備の修繕などを行い、更なる運営施設の全般的な魅力向上に努めます。

2. イベントの拡充

- 各運営施設ではイベントを開催しておりますが、ご来園いただいたお客様の顧客満足度の向上を図るイベントだけでなく、そのイベントによって集客を図ることができる話題性のあるイベントなど、魅力的なイベントを拡充し、集客に努めます。

3. 物販の拡充

- 魅力的なオリジナル商品の企画開発・販売を行い、各運営施設の売上向上やオリジナル商品の販売を通じての各運営施設の知名度向上を図ります。

4. 接客などサービスレベルの向上

- 各運営施設のスタッフによるきめ細やかなサービスの提供を通じて、顧客満足度の向上を図り、集客に努めます。

5. 効果的な宣伝広告の実施

- 各運営施設は施設コンセプトが異なることから、広告媒体の選別を行い、夏休みや春休みなど繁忙期に向けてインパクトある効果的な宣伝広告を行い、集客に努めます。



伊豆ぐらんぱる公園
新アトラクション「FOOT SHOT」



シャボ10(テン)ファミリー
第1弾キャラクター「シャボくん」
ぬいぐるみ

各運営施設の基本方針(まとめ)

① レジャー施設という社会性を重視

当グループの各運営施設は、合計年間130万人を超える多数のお客様が利用することから、社会性を有しております。

当グループは、社会的な責任を負っているという立場を忘れず、社会に貢献するレジャー施設づくりを行ってまいります。



② 自然、生態環境、伊豆半島、伊東市、伊豆高原という“場所”を最大限活用し、最大限還元する

1. 自然環境への配慮

当グループの各運営施設は、伊豆半島、静岡県伊東市及び伊豆高原エリアという海と山に囲まれた自然あふれる“場所”にあります。

当グループは、これら自然環境に十分配慮し、恵まれた自然環境を活かしてレジャー施設づくりを行ってまいります。

2. 地域社会への還元

地元である静岡県伊東市の年間宿泊者数が約300万人の中で、当グループの利用者数は合計年間130万人を超えており、地域社会に大きな影響力を持っております。

当グループは、地元地域の観光を牽引する存在となり、ビジネスを通じて地域社会に貢献できるレジャー施設づくりを行ってまいります。



③ 各施設の歴史を活かした古くて新しい魅力あるレジャー施設の創造

当グループは、開園から50年以上を経過した歴史あるレジャー施設を運営しております。

当グループは、その蓄積したノウハウを活かし、お客様のターゲットに合わせ、また時流を取り入れながら施設の改善等を行い、古くて新しい魅力あるレジャー施設づくりを行ってまいります。

伊豆シャボテン公園の基本方針

① 顧客志向の動植物園

当園は、お客様の求めていることを顕在化させるだけではなく、お客様がまだ知らない、まだ気づいていない動植物の魅力を、動植物のプロフェッショナルとしてお客様に提供し、動植物園の持つ一面である学術性、公共性や社会性という言葉に逃げ込むことなく、真正面からお客様と向き合っており、お客様の求める施設運営を目指します。

② 伊豆シャボテン公園という生態系の創造

当園は、昭和34年の開園以来、東京農業大学名誉教授の近藤典生博士の企画指導により、「生きた博物館」「自然史公園」「ふれあい動植物園」をコンセプトとして、中南米の植物を植え、動物の放し飼いを行うなど、競合の動植物園との差別化を図ってまいりました。

今後はさらにこの50年で培った伊豆シャボテン公園ならではの風景を深化させ、「伊豆シャボテン公園」という生態系の創造を目指します。

③ エデュテイメント

当園は、以下の点を重視し、“楽しみながら学ぶ”というエデュテイメントを目指します。

- ① 確実性
“生き物”の不確実な魅力を、「より確実に」にお伝えします。
- ② 創造性
お客様に対して、より動植物の魅力を伝えるために、創造性ある展示方法を追求します。
- ③ 研究者から一般顧客まで全員が楽しめる顧客志向
研究者が驚嘆するような高い学術性があり、なおかつ専門性の乏しい一般のお客様でも楽しめるような全方位の顧客志向を追求します。



伊豆ぐらんぱる公園の基本方針

①「太陽とソテツの南の島」

当園は、恵まれた自然環境、素晴らしい景観と広い敷地面積を誇り、年間約25万人のお客様にご利用いただいております。

今後さらなる施設の魅力向上のため、“子供たち”や“元気”の象徴である「太陽」、当園の特徴である「ソテツ」と“非日常”の代名詞である“旅行”、“レジャー”、“リゾート地”の象徴である「南の島」を組み合わせた「太陽とソテツの南の島」を新コンセプトとし、“リゾート地”、“非日常”を前面に打ち出したレジャー施設を目指します。



② コミュニケーションの“場”の提供

当園は、両親や祖父母が「子供たちを遊ばせたい！」と思わせる①教育性（知能や経験）、②エンターテインメント性（楽しさ）、③安全性を兼ね備えたレジャー施設であり、なおかつ実際に遊び体験する子供たちが本当に満足できる楽しいレジャー施設を目指します。

また”非日常“の“遊び”や“体験”という「時間の共有」を通じて、アトラクション利用者である子供たちだけでなく、その周辺にいる両親や祖父母、さらには家族以外の人たちとのコミュニケーションまで良化させることを目指します。



③ 子供たちの基礎体力の向上

当園は、子供たちが楽しく基礎体力の向上を図ることができるように、安全を確保したうえで、極めて健康的・科学的な“遊び”の提供を目指します。



伊豆四季の花公園の基本方針

① 一年間通して四季折々の花が見られる

国内のガーデンにおいて、バラなど特定の品種をテーマとするガーデンや冬は積雪で開園できないガーデンなど一年間通して常に充実した花が見られるガーデンは少ないです。

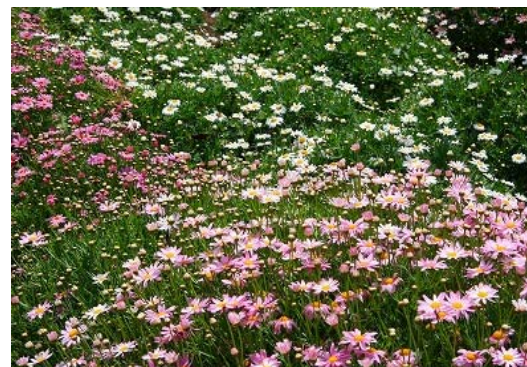
当園は、公園名にある通り四季折々の素晴らしい花々をお客様に見せることができるガーデンを目指します。



② 限られた敷地面積による創造的な展示方法

当園は、富士箱根伊豆国立公園内に位置し、自然公園法第1種に指定されており、日本全国でも極めて恵まれた自然環境にあります。しかし、敷地面積が小さく、花のボリューム(量)を増やすことが難しいという難点があります。

当園では、このような難点を補うため、花々の品質と創造的な展示方法を追求したガーデンを目指します。



③ 門脇吊橋や灯台と並ぶガーデンを創り、“城ヶ崎”観光の発展へ

当園は、城ヶ崎の名所である門脇吊橋や灯台に並ぶような有名・著名なガーデンになり、城ヶ崎の観光の発展に寄与します。



伊豆海洋公園ダイビングセンターの基本方針

① 最高のダイビングセンターへ

当ダイビングセンターは、以下の点を重視し、最高のダイビングセンターを目指します。

【ハード面】

- ①安全管理 より安全に。安全のための施設の充実。
- ②施設の清潔さ より清潔に。
- ③設備の充実 より心地よく、より手軽に、より楽しく。

【ソフト面】

- ①サービスの向上
- ②イベントの充実
- ③営業キャンペーンの充実
- ④PRの充実

② 素晴らしい海の創造

当ダイビングセンターは、施設の改善だけではなく、お客様に海の素晴らしさや様々な海洋生物を新たに知ってもらうことで、お客様目線での「素晴らしい海」の創造を目指します。

③ 多種多様のエアーの供給

当ダイビングセンターは、安全を最優先にしながら、ダイビング分野の最先端の技術に常に着目し、タンクの充実を図るなど施設を充実させます。

また将来的にはテクニカルダイビングの実施も目指します。



伊豆高原旅の駅ぐらんぱーとの基本方針

① ぐらんぱーと自体が目的地となる

当施設は、ドライバーが休憩できるだけでなく、レストランメニューやお土産で独自性(オリジナリティ)を出して、当施設でしか得られない付加価値をお客様に提供し、「ぐらんぱーと自体が目的地」となることを目指します。

② ここにしかない 最高の“味”と最高の“お土産”を提供する

当施設は、どこにでもあるようなレストランメニューやお土産ではなく、独自性(オリジナリティ)のある当施設にしかない最高の“味”と最高の“お土産”を、お客様に提供できる施設を目指します。

③ 地域社会や地域観光への貢献

当施設は、地域社会や地域観光への貢献のため、地域のありきたりのレストランメニューやお土産を置くのではなく、お客様が本当に欲しいと思うような地域の情報、レストランメニューやお土産を提供し、お客様目線での「地域の情報発信機能」や「地域の連携機能」の実現を目指します。

